

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	ため池・治山対策	コード	作成者	役職	農林水産課長
		01-03-02		氏名	坪本 弘毅
				電話	0869-64-1831
				このシート作成に要した時間	4.0 時間

この施策の アピール ポイント	豪雨、地震、流木などによる山地災害を未然に防ぎ、被害を最小限にとどめて地域の安全性を高める。
-----------------------	--

この施策の 平成23年度の 施政方針	ため池については、老朽化したため池もあることから、災害を未然に防止するため、地域住民との連携を密にし、危険個所の把握に努め、維持管理及び改修を進めてまいります。 また、治山についても、土砂の崩壊や流出が災害の一因となることから、山間溪流の整備や治山工事を県に要望してまいります。
--------------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	災害に強いまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	ハード整備による対策のみでなく、ソフト対策による減災対策(あらかじめ被害の発生を想定した上で、その被害を低減させていこうとする取組)の推進をするとともに、地域自らが地域を守る体制整備による地域防災力の強力が求められる。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	高齢化や担い手の不足により、ため池の維持管理が十分できなくなっており、大規模な地震や局地的豪雨による被害が多発している昨今である。 また、山地災害から住民の生活を守るためには、日頃から危険地区を把握し、その情報をもとに適切な対策をとることが重要である。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ため池の改修 治山対策 	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
成果指標 危険ため池改修数	目標 箇所	31.9	33.3	32.5	改修済ため池数/2ha以上ため池数(135)	H24	1	
	実績 箇所	31.9	32.2	32.5		H28	15	
	達成率 %	100.0	96.7	100.0		-	-	
	ベンチマーク					-	-	
参考指標 山地危険箇所対象数	目標 箇所	39	40	41	実施箇所数/山地災害危険箇所数(237)	H24	1	
	実績 箇所	39	40	41		H28	10	
	達成率 %	100.0	100.0	99.0		-	-	
	ベンチマーク					-	-	
参考指標	目標					H24		
	実績					H28		
	達成率 %					-	-	
	ベンチマーク					-	-	
参考指標	目標					H24		
	実績					H28		
	達成率 %					-	-	
	ベンチマーク					-	-	

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

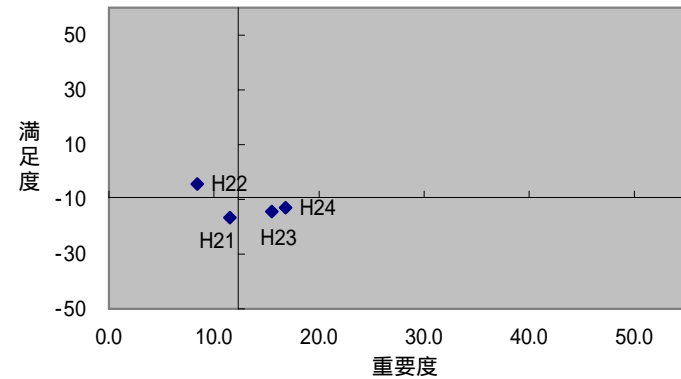
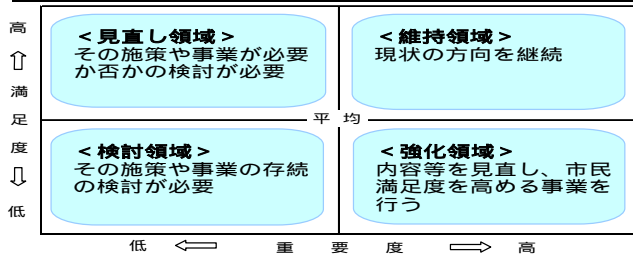
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県	中山間地域総合整備事業	国55%、県30%の補助率でため池の外でも一体で整備ができる事業。ただし、採択に至るまで、37年かかるため、H28年度以降の実施となる。
備前市	小規模ため池補強事業	事業に要する経費を農林公庫から融資を受け元利償還に対し、県より50%の補助を受けて実施する事業。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	緊急対応の要因が高い箇所選定をし、改修計画を策定する。				
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	危険度の最も高い箇所から事業実施とする。同時に採択要件満たした箇所については補助事業とする。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	計画目標達成のため、県とも十分に協議をする。				
進行年度(H24年度)の取組内容 (課題解決状況)		県営ため池整備事業(中田池)は、24年度中には完了予定である。また、H21年度からの継続事業である佐山地区の土砂流失防止林造成事業(県営事業)についても、H24年度で事業完了となる。				
翌年度(H25年度)の取組目標		友延地区の治山堰堤の実施。				
二次評価者コメント		近年、各地で発生しているゲリラ豪雨による災害に備え、危険ため池の維持管理には万全を期していただき、適正な点検に基づき改修計画を事業実施していただきたい。 また、治山事業により、山地災害の未然防止と災害発生時には早期復旧に努めていただきたい。				基本施策への 貢献度 4 やや高い

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)	11.5	8.4	15.5	16.8
満足度(%)	-16.7	-4.4	-14.5	-13.1



調査結果に対するコメント、市民の反応等	近年は局地的な集中豪雨が頻発する傾向が強まっており、地域によってはこれまでにない甚大な被害が発生しやすい状況となりつつあるといえる。 しかしながら、住民の満足度は低く、今後においては、地域住民の生命、財産を守るため、計画的に対策を講じる必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度	
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
1	ため池整備事業	県営ため池整備事業	単市	3,187	464	0.05	24,000	643	0.08	16,000	79	1.00	0	
2	治山事業	県営治山事業	単市	0	1,492	0.04	0	1,982	0.25	0	700	8.00	0	
この施策に費やした資源（単位：千円，人）				平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
				3,187	1,956	0.09	24,000	2,625	0.33	16,000	779	9.00	0	